

3月定例会（2月27日～3月22日）

平成25年度予算を可決

3月議会では、一般会計、特別会計、事業会計の平成25年度予算案9件が提案されました。予算特別委員会（森元清蔵委員長）を設置し、3日間にわたり慎重審議を行い、3月22日の最終日にはいずれも原案のとおり可決されました（議決結果はP8に掲載）。このうち一般会計予算は歳入歳出それぞれ198億4,000万円と前年度当初予算と比べ14億9,000万円増、率にして8.1%増の積極的な予算編成となっており、その主な審議の状況は以下のとおりです。

予算特別委員会の審議状況

【歳入の質疑と委員の意見】

問 今回の国の緊急経済対策等により、予定していた事業に対して効率的に取り組めることは評価するが、今後消費税の増税に合わせて行われる経済対策については、本当に必要なものに充てるよう慎重に判断すべきではないか。

答 加西市の現状や将来展望に合った事業で、有利なものを厳選して取り組みたいと考えます。

問 平成24年、25年の2年間で国の緊急経済対策や土地開発公社の解散に伴う起債が50億程度増加するが、実質公債費率に対する影響は。

答 学校耐震化や土地開発公社の解散に伴う起債については、既に行財政改革プランで見込まれており、今回新たにふえる学校環境整備の起債を含めても、実質公債比率に対してはそれほど影響しません。

意見 そういった状況を市民にも説明し、理解を得て事業を進めていただきたい。

【歳出に対する説明内容】

○ふるさと創造会議交付金については、地域における温度差もあることから、機運が高まった地域においてはふるさと創造会議の母体を立ち上げるための交付金として、まだ機運が高まっていない地域については円卓会議を進めるための交付金として活用します。

○賃貸共同住宅の建設補助や住宅建設のための宅地販売促進補助については、加西市に勤務する人が加西市に住宅がないことや、市街化区域内の宅地化が図れていない現状の中で、補助制度により促進を図ります。

○地域交流センター内に設置する出会いサポートセンターについては、団体での交流活動を通して成立件数がふえるよう取り組みます。

○野上町の歴史遺産調査については、広く野上町周辺の歴史について調査研究を行います。重点としては大日寺の異形石仏群の隠れキリシタンとの関係についての調査を進めます。

○体育施設の整備事業については、多くの市民の要望を受けて、アラジスタジアムに隣接する多目的グラウンドを全面人工芝生化し、照明設備等の設置を行って、フットサル場4面、グラウンドゴルフ場2面が使用できるようにします。

○ため池の整備事業については、灌漑受益面積2ヘクタール以上のため池で、施設状況、決壊の危険度、周辺の影響などの一斉点検を280箇所計画しています。また、堤体の安定解析のためのボーリング調査による耐震診断を1箇所実施します。

○土地区画整理事業については、3月に区画整理組合の設立認可を受け、25年に埋蔵文化財の調査、実施設計、26年度から28年度の3力年で工事、29年に確定測量、30年に換地を行います。200から250区画の分譲地のうち80区画程度の保留地の販売を工事の半ばごろから始める予定です。

○地籍調査事業については、現地調査と事前調査等を含めて6町で実施します。

○斎場火葬炉の設備更新整備及び耐火材の修繕工事については、火葬炉の耐火れんがの劣化への対応等、大幅な改装を5力年計画で行うものです。

【歳出に対する委員の意見】

○人口増のためにはまず働く場が必要であって、国等への陳情も含め努力していただきたい。

○人口増対策の実施に際してはしっかりと見込みを立てて取り組んでいただきたい。

○加西市が近隣市に比べて土地の価格や税金が高いといった、誤ったイメージを払拭するように努力していただきたい。

○出会いサポートセンターについては、データ管理や県等との連携も含め、しっかりと運営できる体制で臨んでいただきたい。

○歴史遺産調査については、市の窓口を明確にして、地元と相談しながらしっかりと対応していただきたい。

○地籍調査事業については、土地の分筆や登記がスムーズになり、固定資産税等で財政的に寄与することもあると思われるので、予算的にも前向きにスピードアップして優先的に取り組んでいただきたい。

○定住促進のための独自施策については、定住してもらえば固定資産税や下水道料金が入ってくることにより、投資した分はすぐに回収できるので、どんどん投資をしてもいいのではないかと。

○指定管理については、業者に丸投げにならないように担当部署が事業者にとしっかりと指導等するとともに、市民から親しまれ利用される施設にしていきたい。